

2022 年度沖縄国際大学 FD 支援プログラム指定プロジェクト

プロジェクト①

「本学におけるマクロレベル（大学全体）の『教学マネジメント指針』の策定」

プロジェクト概要

中央教育審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会において、教学マネジメント（大学がその教育目的を達成するために行う管理運営）指針が示されたことから、本学が自ら掲げる教育目標を達成したかどうかを判断できる客観的かつ具体的な指標と評価・測定方法の策定が不可欠となった。こうした取り組みは、大学の内部質保証の確立にも密接に関わる重要なものである。そこで、2022 年度の指定プロジェクト①では、上記指針を参照にしつつ、本学の実情に合致したマクロレベル（大学全体）での「教学マネジメント指針」の原案を策定することを目指すこととした。

プロジェクトの成果について

計 6 回のプロジェクトミーティングでの協議を通じて、本学のマクロレベルにおける学修成果指標（案）を作成することができた。学修成果指標（案）の成果を踏まえ、今後の展開に関して以下のことを提言された。

- ・「学修成果指標（案）」を然るべき会議体での議論の俎上にのせることで、正式な学修成果指標を早期に策定するとともに、全学で共有化すること。
- ・上記に加えて、ミドルレベル（学部・研究科、ないしは学科・専攻レベル）における学修成果指標の作成に着手すること。

2022 年度沖縄国際大学 FD 支援プログラム指定プロジェクト

プロジェクト②

「ルーブリックを用いた成績評価に関するモデル構築」

プロジェクト概要

大学の授業における成績評価は、到達目標と成績評価方法の関連が受講生等に明確に示されることにより、その客観性と公正性が確保され、このことが学修者本位の学びを実現することにつながる。また、同一科目の場合、その科目の到達目標が同じとなることから、成績評価も共通の基準でおこなわれることが求められる。このような、カリキュラムにおける科目の位置づけの体系性を確保し、同一名称科目における到達目標と成績評価基準の共通化においては、ルーブリックの活用が有用である。そこで、2022 年度の指定プロジェクト②では、特定学科の協力を得て、初年次対象のゼミ科目を事例として取り上げ、統一的な到達目標と成績評価基準のモデルを作成することとした。

プロジェクトの成果について

プロジェクト内での協議を通じて、地域環境政策学科の「基礎演習Ⅰ」および「基礎演習Ⅱ」に用いるための、ディプロマポリシーと関連付けた共通到達目標と、評価手法ごとのルーブリックを作成した。モデル案作成の成果が、本学の教育の質の向上に寄与するために、「地域環境政策学科の基礎演習Ⅰ・Ⅱのすべての担当者によって利用されることで、その妥当性が適切であることを検証すること」、「他学科において、特に初年次ゼミ科目における共通の到達目標と評価指標（ルーブリック）作成に向けて、本プロジェクトでの活動内容を全学的に共有する場を設定すること」等が提言された。